

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
慶和会ひさまクラブさんさんキッズ		2025年 3 月 20 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		療育室とは別にうんどうルームもあるため、空間に余裕をもって過ごせるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		1.5人に対して職員を1人配置しており、個々に丁寧な支援が出来る体制をとっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		活動に応じて部屋の分けや、職員と話し合いながら環境設定を行うようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		毎日の清掃に加え、定期的におもちゃの消毒や点検をおこなっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		メインルームとは別に個別の部屋を用意しています。必要に応じて開放しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	1	必要に応じて話し合いの機会を設けています。	職員会議の時間をもう少しとれるように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者向け評価表を用いて意見を取り入れながら業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	業務上で気になる点がある際は、その都度職員間で話し合い業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		第三者による外部評価を現在実施していません。今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	4	有料の年間研修、WEB研修を実施しています。今後も職員の質向上の為、研修の機会を作っていく事業所内で共有していきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	ホームページにて支援プログラム公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13		個々の発達の状況、年齢など総合的に捉え、職員間でも子どもの状況像を多面的に捉えるようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1	子ども達の日々の様子を職員間で共有したり園やご家庭での様子を聞き取りし、子ども達の最善の利益を考慮しながら作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		支援計画を作成し、モニタリング実施後には保護者と確認した内容等を含め、職員全体で情報共有を行っています。問題点や改善点なども職員とその都度話し合いをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	発達段階での情報も頂きながら計画支援に繋がっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		一人ひとりに応じた、支援内容を設定し個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	職員個々で活動内容を設定しているところもありますが、ねらい等は共有しながら取り組みを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		日々、通所するお子さんの様子に合わせた活動を考え取り組んでいます。また、季節の行事も取り入れるように心掛けております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13		子どもの状況や発達に沿った活動を取り組むようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		朝礼で必ず申し送り事項を確認し、勤務時間が遅い職員でもわかるように連絡ノート等を使い職員全員に周知するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	気付いたこと等は報告や職員間で話し合いをするようにして日々の療育に繋げられるように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		個人の記録と全体の活動の様子が分かるよう記録をとり見直しや改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		原則6か月に1回、必要に応じて1～3か月で行っています。モニタリングは担当職員が対応していきますが職員間で話をしながら進めていきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		一番、子どもの様子を把握できているモニタリング担当職員が会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		幼稚園・保育園などと情報共有をするとともに就学先の学校など必要に応じて連帯し情報共有ができるよう努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	必要に応じて訪問し、情報共有の機会を設けたり子どもの得意な事や苦手な事、支援が必要な事などを伝え相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		必要に応じて小学校などに訪問し、情報共有などを実施しています。また就学相談で、情報提供の資料作成も行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	1	必要に応じて対応していきます。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	地域の公園やお店など利用しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		モニタリングで子どもの状況等の話しや連絡帳でやりとり、また必要な場合には電話での連絡で対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	必要に応じて、保護者の方へ関わり方等の話をさせてもらっております。研修などお知らせがあれば配布物で配っています。	ペアトレ等、現在実施できていませんが、今後取り組みをしたいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		モニタリングの機会を通して意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		毎回、計画に沿った支援内容を説明後に同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		れんらく帳や対面、電話にて保護者とお話をさせていただきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		保護者同士の交流が行えるようなイベント事は現在実施していませんが、見学等をして頂き子どもの成長を見る機会を作りたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		対応できる体制を整えて、できる限り対応させてもらっています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		4月よりSNSを通して活動の様子等を掲載していく予定です。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		施錠付き棚に個人情報管理、ホームページなどの写真には配慮しながら公開しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		視覚的な情報も取り入れながら説明、ライン、電話での確認もさせてもらっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		些細なことから地域参加ができるように取り組んでいきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	定期的に訓練し内容を職員や家族に伝えるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			定期的に訓練できるように取り組んでいきたいと考えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に確認しています。朝の受け入れの際に必ず子どもの状況確認をさせてもらっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	契約時に家族からの情報を得ています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		委員会を立ち上げ対応に向けて取り組んでいる所です。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	委員会を立ち上げ対応に向けて取り組んでいる所です。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有し、事故防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	2	虐待防止対策のDVDや研修等取り組むようにしています。 虐待研修や講演会にも参加しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3	子どもの状況等を見ただけで職員間で検討し、必要な場合には保護者に説明をし了承を得たうえで、個別支援計画に記載をしています。	